

Visoは、寄生素子を含む配線網で解析を行う、新しいツールファミリーの一部です。この寄生素子中心のアプローチにより短時間の解析を実現し、回路とそこに含まれる寄生素子を正確に確認できるようにします。Visoは、Cadence QRC/Quantus、Mentor Calibre XRC、Synopsys Star RCXなどのLPEツール(レイアウト上の寄生素子抽出)の実行後、既存の設計検証フローにシームレスに統合されます。

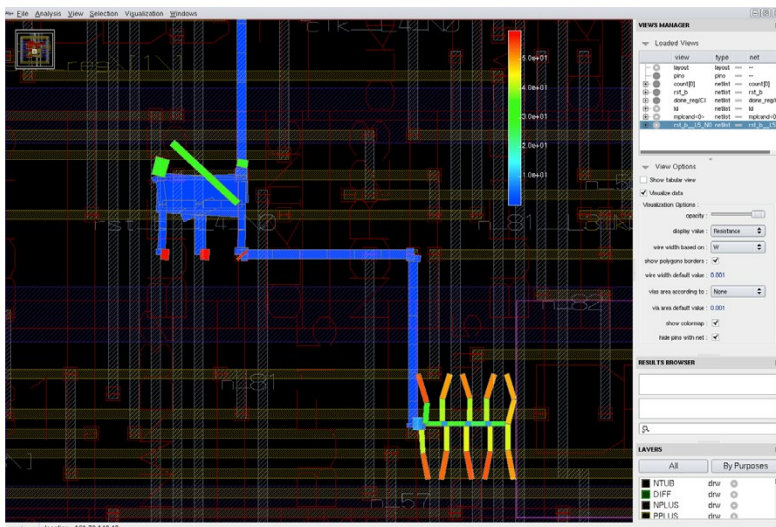
## 寄生素子中心解析

Visoは、あらゆる抽出ツールから抽出されたネットリストを読み込むことが可能です。このツールは、抽出されたネットリストを幾何学形状で可視化し、同時にネットリストの内容を確認できるようにします。Visoには以下の機能が搭載されています：

- ・ ピンとピン間の抵抗値やRCディレイの計算
- ・ ネット間の容量についてのレポート
- ・ トータルの抵抗値、RCディレイ、またはネット間容量の詳細なレイヤの寄与
- ・ パワーMOS向けの解析機能:Rdson、Ciss、Coss、Crss、EM
- ・ メッシュ解析(パワーまたはクロック):IRドロップ、アクセス抵抗、RCディレイ分配、EM
- ・ DSPF内で分断されているネットおよび孤立したピンの検出
- ・ デバイスなどに接続されていないセクションの検出
- ・ S/Y/Zパラメータの計算
- ・ 寄生素子データの上にGDSIIを重ね合わせて表示

## 出力

- ・ ASCIIファイルへの結果出力(TSV/CSV)
- ・ 専用GUIによる2次元/3次元での可視化された情報

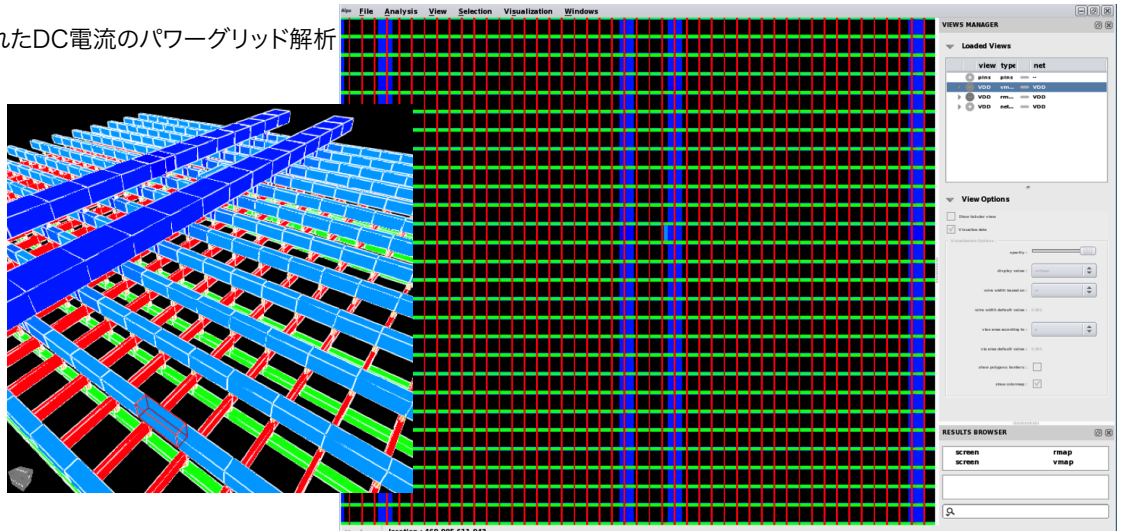


## 例

元のレイアウト・ビューをとまなうネットおよび可視化された情報による寄生素子解析

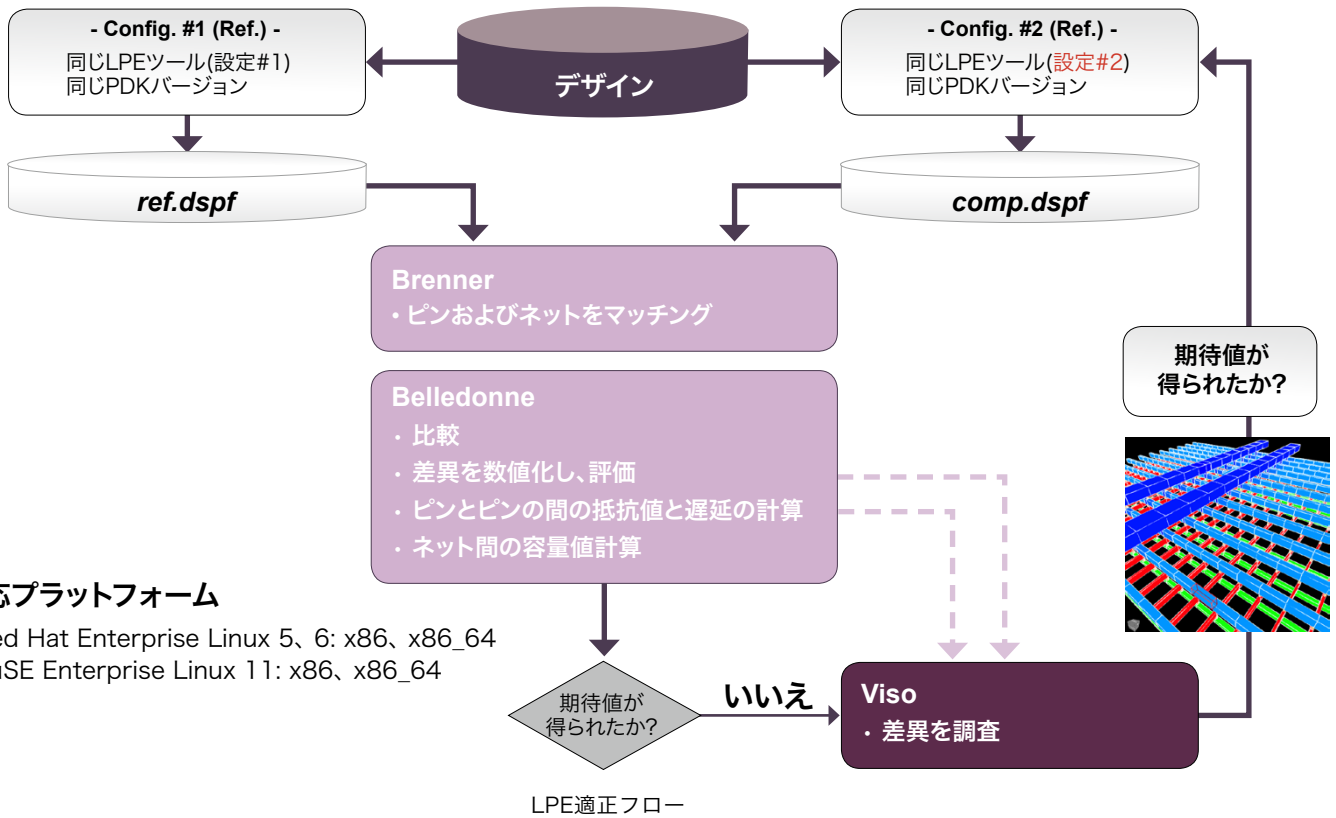
# 例

2次元、および3次元で表現されたDC電流のパワーグリッド解析



## LPE認証フロー

・ ネットリストを素早く検出し(BrennerとBelledonne)、抽出された2つの違いを説明する(Viso)ための「LPE認証フロー」を実行するために、Brenner™、Belledonne™、Viso™を直線的に接続しました。



## 対応プラットフォーム

- ・ Red Hat Enterprise Linux 5, 6: x86, x86\_64
- ・ SuSE Enterprise Linux 11: x86, x86\_64

LPE適正フロー

**SILVACO**

株式会社 シルバコ・ジャパン  
www.silvaco.co.jp

お問い合わせ : jpsales@silvaco.com

### 横浜本社

〒220-8136  
神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-2-1  
横浜ランドマークタワー 36F  
TEL : 045-640-6188 FAX : 045-640-6181

### 京都オフィス

〒604-8152  
京都市中京区烏丸通蛸薬師下ル手洗水町 651-1  
第14長谷ビル 9F  
TEL : 075-229-8207 FAX : 075-229-8208

